

会議名	平成22年度第1回 第5分科会（経営、企画分野）
日時	平成22年10月4日（月） 13時30分～16時30分
場所	江南市市民体育会館 2階 大会議室
出席者	市民委員 奥村 忠、大前温子、太田靖子、尾関順久、高津美佐子、早瀬裕子、飯島和代
	市職員 大竹 誠、社本 亘、山田敏彦、尾関安巳、岩田高志、伊藤幸実、平松和伸、野村和典、川瀬和己
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 今年度のまちづくり会議について 2. まちづくり評価シートについて 3. 江南市戦略計画の見直しについて 4. 委員及び市職員の紹介 5. まちづくり評価及び戦略計画の見直しについて 6. 平成22年度第2回以降のまちづくり会議（分野別会議）日程について
資料	<ol style="list-style-type: none"> 1. 江南市まちづくり会議委員名簿（資料1） 2. まちづくり評価について（資料2） 3. 達成率の計算及び達成状況の表示について（資料2-1） 4. 「江南市戦略計画」見直しの考え方について（資料3） 5. 目標フレーム見直しの考え方（別紙1） 6. 新たな環境変化（主なもの）（別紙2） 7. まちづくり会議のスケジュール（資料4） 8. まちづくり評価シート【V経営、企画分野】（資料5） 9. 戦略計画見直し作業結果シート【V経営、企画分野】（資料6） 10. 江南市戦略計画における目標達成状況把握のための市民調査報告書（資料7）

◆ 会議結果 ◆

1. 今年度のまちづくり会議について

- ・まちづくり評価の概要とまちづくり会議のスケジュールについて、経営企画部長より説明がありました。

2. まちづくり評価シートについて

- ・まちづくり評価シートについて、行政経営課行政マネジメントグループリーダーより説明がありました。

3. 江南市戦略計画の見直しについて

- ・江南市戦略計画の見直しについて、行政経営課政策決定支援グループリーダーより説明がありました。

4. 委員及び市職員の紹介

- ・4月の人事異動により変更のあった市職員の委員（総務課長）及び今年度より委員に加わることとなった市職員（行政経営課主幹、税務課主幹）について、事務局より紹介がありました。

5. まちづくり評価及び戦略計画の見直しについて

- ・まちづくり評価及び戦略計画の見直しについて、担当課長から説明がありました（柱2まで）。

〔柱1〕全体目標「地域全体で将来の目標を共有し、協働で取り組むことにより、地域の価値が向上している」

- ・実績値の分析及び全体目標に対するまちづくり評価の内容については原案で了承されました。

〔柱1〕個別目標①「市民が地域社会の担い手になっている」

- ・指標「アダプト制度の登録割合」について、H21 実績値が 0.66%と、基準値の 0.67%及び H20 実績値の 0.69%より減少したことに対する説明が求められ、アダプト活動団体についてはほぼ変化がないものの、団体に所属する人数が減少したことによるものであるという説明がありました。
- ・公募型協働支援補助事業について、2年目以降の補助額が減少するため、補助を頂いて事業を実施しても次年度以降に繋げていきにくいという意見がありました。担当課長からは、補助金は市民活動団体が力をつけるきっかけとしてもらうことを趣旨としているのでご理解を頂きたいという回答がありました。
- ・同じく公募型協働支援補助事業について、補助の条件である「2つ以上の団体による連携」は実際にはなかなか難しく、申請数が増えていかない一因となっているのではないかという指摘に対し、担当課長から、単独の団体が行う事業についても今後は補助対象とすることを検討中であるという説明がありました。

〔柱1〕個別目標②「地域内の情報を共有し、市政に理解と関心を深めている」

- ・取り組みの状況及び個別目標に対するまちづくり評価の内容については原案で了承されました。

〔柱1〕柱全体のまちづくり評価

- ・柱全体の得られた成果、今後の課題、今後の取り組みの方向性については原案で了承されました。

〔柱1〕戦略計画の見直し

- ・まちづくり評価を踏まえ作成した、戦略計画の見直しの内容については、原案で了承されました。

〔柱2〕全体目標「限られた資源の選択と集中により、市民満足度の高い行財政運営が行われている」

- ・実績値の分析及び全体目標に対するまちづくり評価の内容については原案で了承されました。

〔柱2〕個別目標①「市役所の簡素化・効率化が図られ、市民ニーズに responding している」

- ・指定管理者制度について、導入した施設におけるサービスが以前よりとても良くなったと感じるが、今後他の施設でも導入の予定があるのかという質問がありました。担当課長からは、一部の保育園及び給食センターへの導入を検討しているという回答がありました。
- ・業務改善運動（スマートカップ）について、観覧したところとても好感が持てたので、市役所 1 階の議会中継用モニターなどで録画映像を流してはどうかという意見がありました。
- ・パブリックコメントについて、具体的な事案と寄せられた意見について説明が求められました。これについては次回の会議で提示することとなりました。
- ・取り組みの状況及び個別目標に対するまちづくり評価の内容については原案で了承されました。

〔柱2〕個別目標②「計画的で健全な財政運営が行われている」

- ・集中改革プランにおいて、5年間で削減された 40 億円の経費の内訳について説明が求められました。担当課長からは、最も大きいものは人件費で、その他の主なものとしては受益者負担の見直しやア

ウトソーシングの推進などがあるという説明がありました。

- ・「市長への手紙」の投書の内容について説明が求められました。これについては次回の会議で提示することとなりました。
- ・取り組みの状況及び個別目標に対するまちづくり評価の内容については原案で了承されました。

〔柱 2〕 個別目標③「職員自ら資質の向上を図り、政策形成とマネジメント能力をもった職員が育っている」

- ・集中改革プランにおいて、5年間で110人の職員を削減したことについて、個人の給与も削減したのかという質問があり、担当課長から給与については人事院勧告に基づく改定などを実施したとの回答がありました。
- ・職員を過剰に削減することで優秀な人材が流出するのではないかと懸念しているという意見がありました。担当課長からは、来年度からスタートする『江南市第6次行政改革大綱』では、これまでの削減型の改革から経営の質を高める改革へシフトしていく考えであり、これ以上の職員の削減は行わない予定であるという説明がありました。
- ・個人目標の設定の仕方について説明が求められ、担当課長から、各グループにより事務事業の難易度を設定し、それに応じ各自が目標を設定しているという説明がされました。続いて、評価結果を賃金に反映させることは行っているのかという質問がありました。これについては、部署による評価のバラつきがあることから、現在は毎月の給与への反映は見合わせており、勤勉手当にのみ反映させているという回答がありました。
- ・職員の評価について、民間企業と違い利益を追求しない市役所においては、何をもって優秀な職員とするかという評価基準を作ることが難しいと感じるという意見がありました。
- ・指標「自己啓発をしている職員の割合」の実績が30%台というのは低いのではないかと意見がありました。担当課からは、この数字は市が補助をしている通信教育や各種資格取得の受講者数及び、「自己申告書」で自己啓発をしていると申告した者の数を集計したものであるが、実際にはここに表れないような勉強や習い事等を行っている者も多数いると考えているという説明がありました。
- ・取り組みの状況及び個別目標に対するまちづくり評価の内容については原案で了承されました。

〔柱 2〕 柱全体のまちづくり評価

- ・柱全体の得られた成果について、職員の減少がアウトソーシングによるものである事を明記するべきという意見がありました。

〔柱 2〕 戦略計画の見直し

- ・まちづくり評価を踏まえ作成した、戦略計画の見直しの内容については、原案で了承されました。

6. 平成22年度第2回以降のまちづくり会議(分野別会議)日程について

- ・第2回以降の会議の開催日時を決定しました。

第2回まちづくり会議（経営、企画分野）

開催日時：平成22年10月12日（火）午後6時～ 市役所 2階 大会議室

第3回まちづくり会議（経営、企画分野）

開催日時：平成22年10月19日（火）午後6時～ 市役所 2階 大会議室

その他

事務局から、以下の2点について連絡がありました。

- ・奥村会長、大前副会長、大竹地域協働課長に、11月上旬以降開催予定のまちづくり会議（全体会議）への出席をお願いしました。
- ・奥村会長に、平成23年1月からの住民説明会（全10回）への出席をお願いしました。